



国民体育大会で、頑張ってきます!!

国民スポーツの祭典「2016希望郷いわて国体」と「希望郷いわて大会」(全国障害者スポーツ大会)の壮行会が9月21日に広域行政センターで行われました。市から出場する選手の皆さんは関係者の激励を受け、各大会での活躍を誓い合い、全力を尽くす決意を新たにしました。(名簿は12頁)



「好きな音楽を自由に楽しんでもらいたい」と話す今野さん

【第54回】地域でがんばる「音楽のよろず屋さん」

本荘地域 「コンノ楽器」
(大門50番地 ☎22-2489)
◆ネットショップURL <http://k-gakki.ocnk.net/>

創業
昭和35年、広志さんの父・善治さんが店を始めた。地域の皆さんの音楽の楽しみを広げられればと、楽器や楽譜の販売、修理やメンテナンス、学校教材の取扱いや音楽教室の運営などを幅広く手がけている。現在働いているのは、家族4人と教室の講師5人。親しみやすい店になるよう努めている。

店長の今野広志さん(55歳)にお話を伺いました。



このコーナーでは、市商工会に加盟している市内各地域の「人気のお店」「頑張る会社」を紹介しています。今回は、本荘地域の「コンノ楽器」です。



店内には楽器や楽譜、メンテナンスグッズや小物がひしめきま

「よろず屋さん」として
地域で店を続けて行くために、お客さんの要望をよく聞いて、幅広く細かく、誠実に対応するよう心がけている。時代でニーズも変わるの、それに合わせて業態も少しずつ変えてきた。例えば、昭和40年代は子ども向けのオルガン教室が人気だったが、今はピアノ、サックス、ドラム、ギター、ウクレレの教室を開いていて、大人の生徒さんも多くなっている。昔と比べて音楽はより幅広い世代に身近なものになり、ジャンルも広がったと思うので、誰もが音楽を楽しめるようお手伝いしていきたい。

これから始めたい人へ
楽器を始めようと思った



格好良いギターは見ただけでも心が弾むよう

よろこび
お客さんが喜んでくれることが何よりうれしい。「この曲の楽譜が欲しい」と言われたときにパッと探して提供するだけでも喜ばれるし、楽器の小さな部品ひとつでも用意すると喜んでもらえる。その積み重ねをこれからも大切にしたい。

入門書から難度の高い楽譜までずらり

コンノ楽器
営業時間/ 9時~19時
定休日/なし
(年末年始・盆など)

今野さんのインタビューは、ケーブルテレビで放送されます。番組もぜひお楽しみください。

楽器屋さんに生まれ、小さな頃からさまざまな楽器や音楽に親しんできたという今野さん。取材中にはピアノやドラムの即興演奏も披露してくれました。練習を繰り返して演奏できるようなることの楽しさを、ご自身が知っているからこそ、今野さんの語りには説得力があります。「興味はあるけど始める勇気が出ない」とためらっている人にも、今野さんならベストなアドバイスくれるはず。ぜひ相談してみてください。



店舗奥には貸しスタジオも完備

読者プレゼント 10/20(木)まで

広報クイズ 笑売繁盛プレゼントつき!

コンノ楽器から「楽器付属品5%値引き券」を20人にプレゼント! (楽器本体・楽譜は対象外)

■応募資格/市内にお住まいの方(応募は1人1通)。クイズの答え(2問)と広報紙に対するご意見や感想など「おたより」を添えてお申し込みください。

住所・氏名・年齢
電話番号
クイズの答え
おたより

〒015-8501 尾崎17
広報課
読者プレゼント係

※個人情報記載内容の確認、プレゼントの発送のために使用し、この目的以外には使用しません。

Q1 10月10日にカダーレで行われるのは?
1. 秋の味覚フェス
2. スポーツ立市宣言
3. 市民まつり

Q2 建設工事が終わり、9月に竣工式が行われたのは?
1. 岩城総合支所
2. 由利総合支所
3. 西目総合支所

市ではスポーツを振興し、市民の皆さんの健康づくりや体力づくり、地域の活性化につながる豊かなスポーツライフの実現を目指して、

10月10日(体育の日)、 「スポーツ立市」を 宣言します。



スポーツを健康なまちづくりに生かす取り組みですよ。

クラス担任のさくら先生

自由研究の指導に励む、市の花と同じ名前の先生。

「スポーツ立市」って、何だかワクワクするね。

ゆりほさん、じょう君

元気な小学5年生の2人。

スポーツが由利本荘の躍動と活力のシンボル



「スポーツ立市宣言」は、どのようなことをするのですか。



スポーツ立市宣言は全ての世代でスポーツや運動に親しみ、健やかなまちづくりを進めていくという強い決意を示すものです。

この宣言に合わせて、市のスポーツ振興の取り組みを広く宣伝してもらうため、4人が「スポーツ振興大使」に委嘱されます。宣言式典の様子はケーブルテレビで今月15日(土)、16日(日)に放送の予定です。楽しみですね。そして、スポーツをより身近なものとするために、市では「スポーツ振興まちづくり条例」と「市スポーツ振興計画」を定め、着実に推進していくことにしています。

スポーツ振興大使の方々



井島 章さん

国際武道大学剣道部長。同大学女子剣道部監督、男子剣道部監督を歴任。本市で剣道教室などを開催し指導を行う。教士八段。59歳・本市石沢地区出身。



山内 美加さん

元バレーボール日本代表。オリンピック2大会や世界選手権大会、ワールドカップなどに出場。現在、解説者や指導者として活躍。46歳・本市岩谷町出身。



藤川 亜希さん

ルートインホテルズ女子陸上部監督。秋田市出身。本荘高校陸上競技部から実業団チームへ。名古屋国際女子マラソン第3位。国際女子駅伝などで活躍。38歳。



五十嵐 俊幸さん

元WBC世界フライ級王者。32歳・本市子吉地区出身。アテネオリンピック出場後、プロに転向。本市初の世界王者となり、平成24年に市民栄誉賞を受賞。

宣言式典・講演会

スポーツ立市宣言式典

(カダーレ大ホール)
／午後1時30分～2時

▽国歌・市歌斉唱、市長あいさつ、来賓祝辞

▽スポーツ振興大使の委嘱、同振興大使のあいさつ

▽「スポーツ立市由利本荘」宣言文の朗読

記念イベント

／午後2時10分～2時40分

▽市のスポーツ映像上映・サッカー日本代表キャプテン 長谷部誠選手

どなたでも
ご自由に
観覧できます
(2階席)



講演会の講師
谷川 真理さん

からのビデオメッセージ

▽市内各地域の皆さん(代表)による「決意・夢・目標」の発表

講演会

／午後3時～4時20分

演題「身体と心の健康メソッド」
講師 谷川 真理さん

(マラソンランナー・流通経済大学客員教授・タレント)

ソフトボールやボート、バレーボール、剣道、駅伝競走など、伝統のスポーツの継承と新たな発展について市スポーツ振興計画に盛り込み、推進します。(写真：練習に励む由利高校ソフトボール部員)

スポーツは健やかな心身を育み、生きがいや夢を後押しして仲間づくりや強い絆を結ぶ力となり、地域を明るく、元気にします。

「スポーツ立市って何をするの？」
「スポーツを何に生かすの？」
児童の質問や疑問に、担任の先生と一緒に調べ、丁寧に答えます。

Monthly Zoom-up

昭和天皇と皇后さまが 来訪された歴史に鑑み



どうして「スポーツ立市宣言」を10月10日の体育の日に行うのですか。



スポーツ基本法という法律で、10月の第1土曜日は「スポーツの日」に制定されています。初のスポーツの日は昭和36年10月7日、この日、昭和天皇と香淳皇后両陛下が本荘を訪問され、スポーツを楽しむ市民の健康そのものに拍手を送られました。同月10日には、三笠宮妃殿下が本市を訪問され、秋田国体のソフトボールと卓球をご覧になるなど、歴史に残る日々だったようです。そこで、この思い出深い日を参考とし、現在の「体育の日」(10月第2月曜日)に合わせて宣言を行うことになりました。

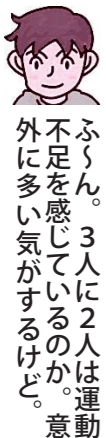
市では、毎年5月の市民参加型イベント「チャレンジデー」に4年連続で参加。今年は82.8%という高い参加率を叩き出すなど、スポーツ振興に弾みをつけてきています。

今年の体育の日は、市にとっても新しい歴史の1ページを刻む日になりますね。



へえ、そういう歴史があったのか。よし、もっと詳しく調べてみよう。

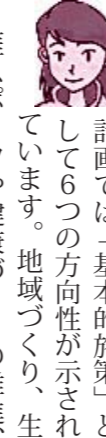
◆問い合わせ先
スポーツ課 ☎32-1334



ふん。3人に2人は運動不足を感じているのか。意外に多い気がするけど。

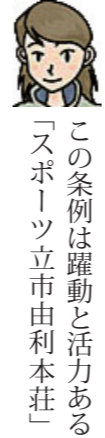
この計画を策定するにあたって、市では今年3月、約1千人に「運動とスポーツに関するアンケート」を行いました。(回答率37・1%)すると、「運動不足を感じている」人が66%で、「運動することが好き」と答えた人が72%でした。これに対し、「過去1年間に運動していない」人が37%で、全体として「運動やスポーツは好きだけど、家事や仕事で忙しく、運動不足を感じている」という姿が浮かび上がりました。この課題を計画的に改善していくこととなります。

市では、どんなことを課題として、取り組みを進めようと考えているのですか。



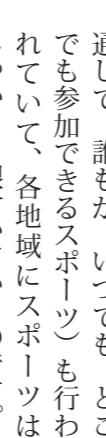
計画では「基本的施策」として6つの方向性が示されています。地域づくり、生涯スポーツや健康づくりの推進、競技スポーツの振興と指導者の養成、スポーツ施設の整備など、さまざまな取り組みを通して一人一人が積極的にスポーツに親しめる環境の整備を推進します。

支える」を基本目標とし、本年度から平成36年度までの基本方針や基本的な施策を定めるものです。

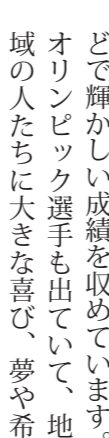


「市スポーツ振興まちづくり条例」とはどういうものですか。

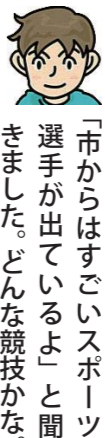
この条例は躍動と活力ある「スポーツ立市由利本荘」



市からはすごいスポーツ選手が出ていますよ」と聞きました。どんな競技かな。



市のスポーツでは、ボートやバレーボール、ソフトボールなどが全国大会などで輝かしい成績を収めています。オリンピック選手も出ていて、地域のみなさんに大きな喜び、夢や希望をもたらしていますね。



また、地域の特性や環境を生かしたスポーツ大会、住民参加型のさまざまな生涯スポーツ(生涯を通じて、誰もが、いつでも、どこでも参加できるスポーツ)も行われていて、各地域にスポーツはしっかりと根付いているのです。

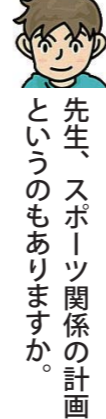
スポーツ振興まちづくり条例とスポーツ振興計画で取り組む

4つの基本方針、6つの推進施策で!

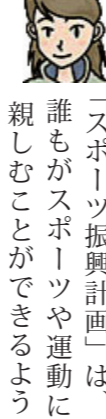
を築くため、学校・地域・関係団体などが連携して取り組むことを定めたもので、9月の市議会に決まりました。

市と市民の皆さん、スポーツ団体や事業者の役割を明らかにし、健康の保持・増進やレクリエーションを目的とした生涯スポーツの振興とスポーツ施設を利用しやすくしていきます。

条例はスポーツに関し「する・観る・支える」ことを基本として、明るく豊かな生活と、活力ある地域社会の実現を目指すものです。



先生、スポーツ関係の計画というのがありますか。



「スポーツ振興計画」は、誰もがスポーツや運動に親しむことができるよう

「豊かなスポーツライフを実現すること」を重要課題として、新しく策定した計画です。スポーツ振興まちづくり条例の「する・観る・

市出身のオリンピック、パラリンピック選手



伊藤次男さん
ボート競技 64〜72年の東京・メキシコ・ミュンヘン五輪(74歳・大内地域出身)

山内美加さん
バレーボール競技 92〜96年のバルセロナ・アトランタ五輪(3歳参照)

五十嵐俊幸さん
ボクシング競技 04年のアテネ五輪(3歳参照)



松永武夫さん
陸上競技 車いすバスケットボール競技 68年のマッドガン、76〜80年のトロント・アーヘン、96年のアトランタ 各パラリンピック(74歳・大内地域出身)



地域の特性や環境を生かすとともに、伝統あるスポーツの振興を図ります。



スポーツ振興計画の目標や方針(案)

基本目標

「健康で笑顔あふれる地域づくり」を目指し、市民の誰もがいつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しむことのできる環境づくりや情報提供などを行い、生涯スポーツ社会の実現とスポーツによる地域の活性化を促進します。

基本方針

- 市民自らが積極的にスポーツに親しみ、市民が主役の「スポーツ立市」を目指します。
- 「チャレンジデー」の取り組みを継続し、全市の一体感の醸成や心身の健康づくりを推進します。
- 「するスポーツ」「観るスポーツ」「支えるスポーツ」を主要施策として、健康づくりや生きがいづくり、地域活性化に結びつくような、豊かなスポーツライフの実現を目指します。
- (仮称)由利本荘アリーナを中核の拠点施設に位置付け、プロスポーツなど、ハイレベルな試合や大型スポーツイベントなどを通してスポーツツーリズムの醸成に努め、地域経済の活性化やにぎわいの創出を目指します。

基本的な施策と推進施策

1 スポーツによる地域づくりの推進

- ①スポーツ立市、②スポーツによる地域づくり、③スポーツ活動に関する情報発信
スポーツ立市を宣言し、スポーツに親しむ環境を整備する。各スポーツ大会を継続し、地域コミュニティの再構築を図る。

2 生涯スポーツや健康づくりの推進

- ①チャレンジデーの推進、②地域の特性を生かした活動の推進、

- ③健康づくりの推進、④学校体育の充実と子どもの体力向上、⑤統合型スポーツクラブの支援と育成

市民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」などを通し、運動習慣の浸透を図る。アリーナを核とした「健康の駅」を設置し、インターバル速歩の普及や介護予防に取り組む。小・中学校の体育を通し、基礎体力や運動能力を身につけ、心身の健康を育む。各地域に統合型スポーツクラブ設立を目指し支援する。

3 競技スポーツの振興

- ①体育協会への活動支援、②スポーツ少年団への活動支援、③競技団体や関係機関との連携
スポーツの普及と競技力向上のため、体育協会の活動を支援する。子どもたちのスポーツ活動を支援、団体などと連携を図る。

4 指導者の養成

- ①指導者の養成、②スポーツ推進委員会との連携
スポ少の指導者の育成やスポーツ推進委員と連携を図る。

5 スポーツ施設の整備

- ①活動拠点施設の環境整備、②(仮称)由利本荘アリーナの活用
地域の体育施設を計画的・効率的に管理する。アリーナを核とし、ハイレベルなスポーツイベントを通じて観るスポーツの醍醐味や感動を共有できる、魅力ある施設として活用する。

6 トップスポーツへの支援

- ①プロスポーツ選手などの活動支援、②プロスポーツチームなどとの連携
スポーツツーリズムを推進する。プロチームなどと連携したスポーツ教室などを開催する。

※スポーツツーリズム

スポーツ観戦やスポーツイベントへの参加を目的とし、開催地周辺の観光とを組み合わせた旅行スタイル。スポーツを支える人との交流や地域経済への波及効果などを旨す、新しい旅の仕組み。



スポーツ振興計画策定委員

佐藤真喜雄さん
(72歳・一番堰 県総合型スポーツクラブ連絡協議会長)

Interview

地域特性生かしたスポーツクラブに期待

スポーツ振興のためには、全ての市民に関心を持ってもらい、取り組みの底辺を拡大することが重要です。チャレンジデーの経験や実績を活用し、健康の維持・増進のために運動やスポーツを普及していけるよう、また、地域の特性を生かし、観光振興にも貢献できるような総合型スポーツクラブづくりに期待します。アリーナの早期完成を待ち遠しく思っている1人です。



大会旗を引き継ぎ、あいさつする長谷部市長と、横断幕を掲げ「全国市町村交流レガッタ」の次回開催をアピールする関係者(9月18日、戸田大会で)



総合防災公園に整備中の「アリーナ」イメージ。右が「屋根付きグラウンド」



屋根付きグラウンドの利用イメージ

(仮称) 由利本荘アリーナを建設!

スポーツ交流と防災など複合機能拠点 平成30年10月オープン目指し、着々と

先生、スポーツ立市の取り組みで、中心的な建物はありますか。

それはいい質問ですね。今、本荘地域石脇地区に「総合防災公園」を整備していて、(仮称)由利本荘アリーナの建設を進めています。平成30年10月にオープン予定のこのアリーナが、スポーツ振興をはじめとする拠点施設に位置付けられます。

アリーナは、どれぐらいの大きさの建物なのですか。

このアリーナは、地上2階建て(一部3階建て)で、延べ床面積16966平方メートルです。単純に比べると、大内地域の市総合体育館(延べ床面積5864平方メートル)の約3倍の床面積になります。

アリーナにはバスケットボール



工事の進む建設現場

コート4面を取れるメインアリーナと観客席(固定2264席、可動式800席)、サブアリーナ、武道場(柔道場・剣道場)、地域コミュニティセンター(会議室・宿泊室・調理室)のほか、フィットネススタジオやトレーニングルーム設備、ランニングコース(一周270メートル)などが造られます。ほかにも、屋根付きグラウンド(延べ床面積1613平方メートル)や多目的広場、約1千台分の駐車場も備えた施設です。

総合防災公園だから、スポーツのほかにも使われるのですか。

そうです。アリーナは「スポーツ交流」「防災」「地域コミュニティ」「健康増進」「地域経済活性化」の5つの機能を持っていて、複合型交流拠点にふさわしい一体的な運営を目指すこととなります。

市が計画しているのは「健康の駅」という構想です。これはアリーナと地域の体育施設、公民館などが「健康の駅」としてつながり、お互いに連携するイメージです。

スポーツと健康づくりによる地域活性化のための取り組みはありますか。

はい、すでにそのことにも取りかかっています。市ではスポーツを通じた交流促進や健康増進、地域活性化のため、官民一体型の「(仮称)市スポーツ・ヘルスコミッション」の11月設立を目指して、検討委員会を開催し、活動の進め方を協議しています。

このコミッションは市のスポーツ施設や資源を活用してスポーツ大会やイベント、合宿などを誘致し、スポーツによる地域活性化や交流人口の拡大を目指します。また、インターバル速歩など健康増進事業の発信により、スポーツと健康事業で本市の知名度アップを進める組織です。

スポーツ・ヘルスコミッション
コミッションの役割

今後、市で開かれるスポーツ大会はありますか。

市では、来年度に「ねんりんピック秋田大会」と「全国市町村交流レガッタ」(ともに9月)が開催されます。

市外、県外から多くの選手や関係者が訪れるこのチャンスを生かし、市の取り組みやアリーナのPRに努めます。

ねんりんピック

全国健康福祉祭。60歳以上の方を中心にあらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めるスポーツと文化の祭典。本市ではソフトボールと剣道を実施。

全国市町村交流レガッタ

ナックルフォア5000名のポート競技大会。全国ポート場所在市町村協議会(加盟30市町村)が持ち回りで開催。本市での開催は平成7年以来、22年ぶり。

◇問い合わせ先

- 総合防災公園については
総合防災公園管理運営
準備事務局 ☎24-62276
- ねんりんピックについては
長寿支援課(ねんりんピック
運営班) ☎65-3829
- 全国市町村交流レガッタに
ついては スポーツ課
☎32-1334

ルールとマナーを守り、 元気に楽しく。みんなが スポーツ立市の主役です

スポーツに取り組んでいる皆さんを訪ね、意気込みなどを伺いました



子どもたちに礼儀やあいさつを指導

三浦 皓光さん (72歳・西目町西目)

平成元年に西目弓道愛好会を設立し、射会は百回を超えました。弓道の普及につなげたいと願いながら、小学生向けの弓道体験なども行い、「礼に始まり、礼に終わる」、武道の厳しいしつけ、礼儀作法やあいさつを指導しています。



我慢強く努力し、人間力を高めたい

佐藤 沙耶さん (13歳・鳥海町上川内)

小学1年から卓球をしています。昨年、全国大会の団体戦では1番手で勝ってチームに勢いを付けられてうれしかったです。卓球は人間力を高めなければミスが出てしまいます。何事にも我慢強く向き合い、頑張りたいと思います。



子どもたちの笑顔見るのを楽しみに

湊 広子さん (49歳・岩城二古)

岩城バレーボールスポーツ少年団で低学年を担当しています。大人になっても成長できるよう、基本と基礎、フェアプレーや全力を尽くすことなど、スポーツ精神の指導に努めています。子どもたちの笑顔を見るのが楽しみです。



パークゴルフで盛り上がっていますよ

石岡 イセ子さん (73歳・東由利田代)

パークゴルフを始めて12年です。芝生を歩くので膝の負担が少なく、健康的です。仲間もたくさんできて楽しいです。新しく2コースが増える来年には東北大会が開催されます。東由利はパークゴルフで盛り上がりを感じます。



地元の矢鳥スキー場で練習します

三浦 圭仁君 (11歳・矢鳥町川辺)

スキースポーツ少年団に入っています。近くに鳥海高原矢鳥スキー場があって、すぐに練習ができます。去年の大会では3位が最高でした。この冬はもっと上位に入れるよう、そして県大会出場を目指して練習したいと思っています。



世界ろう者陸上競技大会で銀メダル獲得！
みんなに夢を持ってもらえたら

岡部 祐介さん (28歳・肴町出身)

岡部祐介さんは本市肴町出身で、横浜市にお住まいです。生まれつき「両側感音性難聴」という障がいがありますが、中学生の時に陸上競技を始め、レベルアップを目指しています。岡部さんは今年7月、ブルガリアで開かれた「第3回世界ろう者陸上競技選手権大会」に出場。4×400リレーで第2走者を務め、見事銀メダルを獲得しました。

「4年前の前回大会の銅メダルよりいい色になってうれしい。バトンの受け渡しはスムーズにできたこともあり、今回はタイムでも日本新記録を出すことができた」と広報課に喜びのメールを送ってくれました。

今年の春にライフネット生命に転職し、仕事と練習を両立できる良い環境が整ったそうので、「安心して練習が続けられるので、まだまだ上を目指して頑張りたい」と意気込みます。最近では陸上競技のPRのため、聴覚障がいの子どもたちへの講演などもあります。「子どもたちに夢や希望を持ってもらうために、自分が役に立てたらうれしい」と話す岡部さん。今後もデフリンピック(聴覚障がい者の五輪)を目標に走り続けるアスリートです。



シニアサッカーでいい汗かいています

正木 修一さん (62歳・黒沢)

全国大会を目指し、60歳代の全県シニアチームでサッカーに打ち込んでいます。去年は全国3位になりました。週に2回の練習で体を動かして、いい汗をかいています。体を大事にし、70歳代になっても競技を続けていきたいと思っています。



グラウンドゴルフは誰でも楽しめる

成田 正雄さん (81歳・岩谷町)

グラウンドゴルフは攻撃性がなく、誰でも楽しめるスポーツです。各地域クラブ連合会の親善大会には約130人が参加し、盛会です。でも、あまり夢中になり過ぎないことも大事。2時間を超えれば、軽スポーツでなくなりますから。



スポーツ振興計画や健康の駅構想のことなどを知り、実際に地域でスポーツを頑張っている人たちに会ってみてください。行ってもいいですか。

それでは、3人で散歩しながら、お話を聴きに行ってみましょう。真面目に楽しく、スポーツに取り組んでいる皆さんです。

「する」「観る」「支える」

スポーツにさまざまなに関わり、仲間づくりや連携・協働で

未来に開くまぢづくり

「支える」は大事な視点、地域の未来づくりにつながる

スポーツ振興計画は先進事例に学び、地域貢献できる内容にすることを基本的な考え方としました。「する・観る・支える」のうち、特に「支える」ことは「育てる」に通じる大事な視点です。

学校体育、スポーツ少年団、競技団体や市の取り組み

みがこの計画で一つになりました。市民の皆さんには、これを健康で笑顔あふれる生活に役立ててほしいですし、伝統あるスポーツにも目を向け、地域の未来づくりにつなげてもらいたいと思います。



織田羽衣子 さん

(市スポーツ振興計画策定委員、本荘由利地区校長会副会長 59歳・岩谷町)

プロスポーツの現場を支え、充実感があります

バスケットボールが好きだったことから4年前に県スポーツボランティアに入りました。「秋田ノーザンハピネット」の試合などのイベントボランティアに参加しています。多くの皆さんとのつながりができ、食事に行ったりスポーツ以外の話で盛り上がりたり、楽しく充実しています。今後も楽しくサポートを続けていきたいと思っています。



三浦香奈子 さん

(スポーツボランティア 37歳・矢島町川辺)

レベルの高いプロバスケの試合に期待が高まる

秋田と言えばバスケ、という思いをみんなが持っていると思います。その思いで「秋田ノーザンハピネット」が2年目の年に総合体育館に行き、迫力あるプレーに魅了されました。仲間と好きなチームを応援し、知り合いの輪が広がる面白さもあります。Bリーグが開幕し、よりレベルの高い試合が見られること、ハピネットの選手が成長し、勝利することを期待します。



佐々木 徹 さん

(秋田ノーザンハピネットブスター 41歳・砂子下・写真右)



プレシーズンゲームで秋田ノーザンハピネットが得点するたび、大歓声に揺れる会場。(9月3日、総合体育館で)

取材を終えて

今年世界的なスポーツの祭典「オリンピック競技大会」がブラジル・リオデジャネイロで開催され、日本が史上最多41個のメダルを獲得。日本代表選手の活躍、正々堂々と勝負に挑む姿は多くの人に大きな喜びと感動を届けてくれました。夢を追う、厳しい練習を重ねてきた選手たちが限界に挑み躍る姿は多くのドラマを生み、息詰まる決勝戦を制して輝く笑顔、敗れて流す涙に私たちは心打たれました。

“スポーツは” “世界共通”の文化活動の一つ

スポーツは、人が体を動かすことで爽快感や達成感を得たり、仲間との連帯感や楽しさ、喜びを分かち合えたりするもので、世界共通の文化活動の一つとされます。

10月10日に行う「スポーツ立市由利本荘」宣言で市が目指すことは「する・観る・支える」という視点で、誰でもいつでもスポーツに親しめる「豊かなスポーツライフの実現」を図ることです。

市誕生から丸10年が経ちました。人口減少社会という新たな局面に入り、市総合戦略の重要課題に掲げる「元気な少子高齢社会の形成」「地域活力の維持・向上」を目指し、スポーツの力を生かす取り組みを進めます。

市内ではさまざまな年代の方がスポーツに励んでいます。子どもたちの中にはリオ五輪に刺激され、将来の「オリンピック選手」を夢見ている人もいます。その夢を育みたいと思います。

ドラマのようなスポーツシーンを

スポーツでは、厳しい場面でも諦めずに、頑張っ立ち向かっていくことからドラマが生まれます。私たち一人ひとりがスポーツに接し、連携・協働で取り組みながら、今後語り継がれるドラマのようなスポーツシーンを描いていきましょう。

10月10日、「スポーツ立市宣言」を未来づくりの第一歩にして。